

「ひきこもり」を 知る・考える



「個人の問題」で片づけてしまわないために

近年「ひきこもり」が、殺人事件や死傷事故といった、センセーショナルな出来事との関連で語られることが多くなったように感じられます。そして、それが「個人の問題」のみに結びつけるような興味本位の解釈や、一面的で不正確な情報に接することも少なくありません。今年度の水俣学研究センター公開講座では、「ひきこもり」を社会の問題として位置づけ直しながら、私たちの「思い込み」を見直します。私たちそれぞれが、「ひきこもり」について考えるために、多様な見方と広い知識が身につけられる機会です。ぜひご参加ください。

2019年 **9月24日** から **10月15日** の **毎週火曜日**

午後**6時30分**～**8時30分** 水俣市公民館 2階 第1研修室にて

9/24 「ひきこもり」が問いかけるもの

富田 正徳 熊本県ひきこもり地域支援センター 所長
西田 稔 同センター 参事

10/1 国際調査で見えてきた「ひきこもり」の課題 -なぜひきこもりは日本に多いのか?-

加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 講師

10/8 児童・思春期外来を通して考える「ひきこもり」

城野 匡 熊本学園大学社会福祉学部 教授

10/15 水俣市社会福祉協議会におけるひきこもり支援

秋山 真輝 水俣市社会福祉協議会 主任相談支援員

* 受講はすべて無料です。全講義受講者には修了証を発行します

お問い合わせ・お申し込み

水俣学現地研究センター 水俣市浜町2丁目 7-13

TEL 0966-63-5030 FAX 0966-83-8883

e-mail m-genchi@kumagaku.ac.jp

主催：熊本学園大学 水俣学研究センター / 後援：水俣市教育委員会（依頼中）

